

日本家畜臨床学会第40回学術集会の報告

高橋雅博[†] (秋田県農業共済組合連合会中央部家畜診療所長)



11月14, 15日の2日間にわたり、日本家畜臨床学会の第40回学術集会および平成21年度総会が秋田温泉さとみ(秋田市)で開催された。北は北海道から南は宮崎県まで137名の会員が集まり、過去最大の参加者数となった。

臨床現場で問題となっている関心の深いテーマを中心に研究した22題の一般講演のほか特別講演、学術シンポジウムⅠ, Ⅱが行われ、盛り沢山な集会となった。両日は雪こそないものの、外は激しい風と雷雨の中、熱心な質疑応答が交わされた。

特別講演は、新たに博士を取得した会員が学位論文として纏めた研究内容の紹介が慣例となっている。高橋正弘氏(NOSAI岩手北部)が「超音波診断装置を用いた妊娠末期におけるホルスタイン種クローン胚由来産子の体重モニタリング法に関する研究」について講演した。

学術シンポジウムⅠは、多くの会員が関心のある今日的なテーマを設け、その第一人者を招いて学び、討議することとしている。ここ3年間は「食の安全・安心」を多方面から研修してきた。今回のテーマは「動物の愛護と福祉」とした。佐藤衆介氏(東北大学大学院)を招き、家畜福祉に関する基礎知識、国内外の状況さらには福祉と生産性について「家畜の生産と福祉」と題し、ご講演いただいた。

学術シンポジウムⅡは、獣医療の最前線がテーマである。昨年に引き続き(財)畜産生物科学安全研究所との共催で「牛ルーメンの微生物研究の最前線と性状評価へのアプローチ」をタイトルに2題の講演が行われた。三森真琴氏(畜産草地研)は「ルーメン微生物生態系の構成要因と機能」として、ルーメン微生物の生態とアプローチの方法について、佐藤 繁氏(岩手大学)は「無線伝送式pHメーターの開発とルーメンpHの連続測定」として、ルーメン監視システムの開発により日内変動のモニターを可能とし、その臨床応用について提言した。2日目の最後の講演にも拘らず、多くの会員が残り、ルーメンの世界に魅せられていた。

この学術集会の最大の特徴は、東北六県の温泉をめぐ

り、懇親会付きで開催される場所にある。従って、本学会のメインイベントは懇親会と言うことになる。124名の会員が参加のもと、三宅陽一会長の挨拶、来賓の秋田県獣医師会砂原和文会長の祝辞で始まり、乾杯の音頭を恒例により開催地の新入会員小松 咲さんが務めた。新入会員、学生会員の自己紹介に歓声が湧き、昼の発表の場では討議し尽くせなかった内容について職域を超え、年齢に拘らずに忌憚なく意見交換がされ、あちこちに討論の輪が形成された。そして次期開催地の加藤敏英評議員(NOSAI山形)が130人超えの懇親会を約束して幕を閉じた。

日本家畜臨床学会は、昭和44年に東北在住の家畜診療に携わっていた諸先輩獣医師と岩手大学の教官が畜産の振興と家畜診療の向上のために創設された「東北家畜臨床研究会」が母体となっている。平成12年にその名称を変更し、全国的な産業動物臨床に関わる学術研究団体として発展してきた。今年で、「東北家畜臨床研究会」発足から40年、「日本家畜臨床学会」として10年となる。東北の産業動物獣医師、岩手、北里大学の教官はもとより全国の360余名の会員の参加と東北六県の各獣医師会、各県NOSAIの支援と賛助会員の協賛をいただき運営されている。日本獣医師会学会、日本獣医学会、日本獣医内科学アカデミーとの合同シンポジウムの開催、北海道の大動物臨床研究会をはじめ全国の臨床研究団体との交流、連携を強め、個体診療技術の向上はもとより、新しい視点に立った診療技術の開発促進に目標を置いている。

以下、私見であるが、近年の傾向として、演題数は多くなっているが、臨床現場の会員の発表の比率が少なくなっているのが残念である。今回も学生会員の発表が11題と約半数を占め、大学の先生の指導によるところが大きく、大学にカバーしてもらっている感がある。本県NOSAI会員の発表もここ数年ない。言い訳をすれば、若手獣医師の採用がなく、人手不足、現場での事務量の増加が要因かとも思う。産業動物獣医師の確保が急務となっている中、学生会員の参加は学会を盛り上げてくれている。臨床に関心を持つ学生と触れ合う機会が得られることはありがたく、彼らの熱意と真摯さが、我々熟年

[†] 連絡責任者：高橋雅博(秋田県農業共済組合連合会中央部家畜診療所)

〒015-0332 由利本荘市森子字明法下152

☎0184-32-8881 FAX 0184-53-3502

E-mail: tyuoubu@oregano.ocn.ne.jp

会員をリフレッシュさせてくれている。学生会員が将来産業動物臨床の道に進み、全国各地で活躍し、本学会を発展させてくれることを祈念して止まない。

次回第41回学術集会は、11月、山形の天童ホテル（山形県天童市）で開催される。多くの会員と再会できることを楽しみにしている。
